



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ライトアップ 上場取引所 東  
コード番号 6580 URL http://www.writeup.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 崇  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 村越 亨 TEL 03-5784-0700  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	678	-	△83	-	△83	-	△75	-
2024年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △79百万円 (-%) 2024年3月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△14.51	-
2024年3月期第1四半期	-	-

(注) 1. 当社は、2024年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,241	2,621	80.9
2024年3月期	3,415	2,701	79.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,621百万円 2024年3月期 2,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,343	56.5	631	97.6	627	99.4	437	89.7	84.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	5,806,000株	2024年3月期	5,806,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	625,151株	2024年3月期	625,151株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	5,180,849株	2024年3月期1Q	5,180,849株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

当社は、2024年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化、雇用・所得環境の改善等により、企業の経済活動や個人消費が緩やかに持ち直してきている一方、長期化するウクライナ情勢、中東地域を巡る地政学的リスクの高まり、円安を背景とする原材料やエネルギーコストの高止まり、中国経済の先行き懸念等を背景とした海外景気の下振れ等の懸念や世界的な金融引き締めによる景気後退リスクなど、先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは当社の「全国、全ての中小企業を黒字にする」という理念に基づいて各事業に取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は678,127千円、営業損失は83,930千円、経常損失は83,210千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は75,159千円となりました。

なお、当社グループは、下期に売上が偏重する傾向にあります。これは、「Jコンサル」に含まれる公的支援制度活用支援サービスの提供開始時期が年度の更新作業等で期初数か月ずれることや、年度末の3月に公的支援制度の申請締切が集中すること等に起因いたします。また、コンテンツ制作においては、12月及び3月に顧客企業に対する納期が集中する傾向にあります。これらの要因により、今期の売上予算につきましても、下期に売上が偏重する計画を立てております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

DXソリューション事業におきましては、パートナー企業と共同で実施するIT・人材・マーケティング関連商材の共同開発、共同仕入れ及びそれら企業への営業支援を行っている「JDネット」、IT・人材・マーケティング・助成金等の4つの視点から業務のDX化による経営課題の解決とDX化を推進するための資金確保(補助金・助成金活用等)に関する経営コンサルティングサービスである「Jコンサル」及び補助金・助成金自動診断システムである「Jシステム」の主要サービスを中心として事業を展開してまいりました。当第1四半期連結累計期間は、3つの主要サービスをはじめとした各サービスにおいて、AI・ITを活用した中小企業支援に注力してまいりました。AI活用領域における新たなAIソリューションサービス(AI活用研修、コンサルティング、BPO、開発)の受注は非常に好調に推移し、前連結会計年度より開始した「内製化パック」の受注も過去最高を記録いたしました。しかし、AI活用領域におけるサービスは第2四半期連結累計期間以降に業績に貢献する予定であり、当第1四半期連結累計期間では費用計上が先行いたしました。また、「内製化パック」については補助金受付の開始時期が4月からであったため、売上計上は第2四半期連結累計期間以降となりました。

この結果、同セグメントの売上高は622,125千円、セグメント損失は12,850千円となりました。

コンテンツ事業におきましては、業種や規模を問わず、様々な企業の「メール・Webマーケティング」等の企画制作の受託サービスを展開しており、市場環境の変化に合わせてサービスの受注拡大と生産性向上に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間は、受注が低調であったことに加えて、リードタイムが長期化した影響により一部の受注案件の納品が7月以降にずれ込むなどの影響により総じて低調に推移いたしました。

この結果、同セグメントの売上高は56,001千円、セグメント損失は2,039千円となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ173,720千円減少し、3,241,452千円となりました。これは主に、現金及び預金が159,244千円減少、受取手形及び売掛金が40,302千円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ94,149千円減少し、619,807千円となりました。これは主に、契約負債が38,253千円増加した一方で、未払法人税等が91,569千円減少、買掛金が35,425千円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ79,571千円減少し、2,621,645千円となりました。これは利益剰余金が75,159千円減少した一方で、純資産の控除項目であるその他有価証券評価差額金が4,411千円増加したことによるものです。主な純資産の内訳は資本金386,381千円、資本剰余金304,281千円、利益剰余金2,302,314千円、自己株式△362,919千円であります。

なお、自己資本比率は80.9%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月15日に「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,432,385	2,273,140
受取手形及び売掛金	481,537	441,234
商品	34,123	33,829
仕掛品	4,518	3,069
貯蔵品	535	436
その他	62,026	126,697
貸倒引当金	△23,500	△73,271
流動資産合計	2,991,627	2,805,136
固定資産		
有形固定資産	11,738	11,131
無形固定資産		
のれん	93,409	91,014
その他	143,700	156,260
無形固定資産合計	237,109	247,274
投資その他の資産		
敷金	84,494	83,709
その他	227,901	234,064
貸倒引当金	△137,696	△139,863
投資その他の資産合計	174,698	177,910
固定資産合計	423,546	436,316
資産合計	3,415,173	3,241,452
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	70,958	35,532
未払法人税等	94,082	2,513
契約負債	345,759	384,012
その他	197,370	192,396
流動負債合計	708,170	614,455
固定負債		
リース債務	5,786	5,352
固定負債合計	5,786	5,352
負債合計	713,956	619,807
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	386,381	386,381
資本剰余金	304,281	304,281
利益剰余金	2,377,474	2,302,314
自己株式	△362,919	△362,919
株主資本合計	2,705,217	2,630,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,000	△8,411
その他の包括利益累計額合計	△4,000	△8,411
純資産合計	2,701,216	2,621,645
負債純資産合計	3,415,173	3,241,452

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	※ 678,127
売上原価	142,378
売上総利益	535,748
販売費及び一般管理費	619,678
営業損失(△)	△83,930
営業外収益	
受取利息	0
還付加算金	1
その他	964
営業外収益合計	965
営業外費用	
和解金	236
その他	10
営業外費用合計	246
経常損失(△)	△83,210
税金等調整前四半期純損失(△)	△83,210
法人税、住民税及び事業税	241
法人税等調整額	△8,292
法人税等合計	△8,051
四半期純損失(△)	△75,159
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△75,159

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△75,159
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△4,411
その他の包括利益合計	△4,411
四半期包括利益	△79,571
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,571

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	D Xソリューション事業	コンテンツ事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	435,477	56,001	491,478
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	186,648	—	186,648
顧客との契約から生じる収益	622,125	56,001	678,127
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	622,125	56,001	678,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	622,125	56,001	678,127
セグメント利益	△12,850	△2,039	△14,890

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△14,890
全社費用(注)	△69,039
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△83,930

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	9,408千円
のれん償却額	2,395

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※売上高の季節的変動

当社グループの売上高は、DXソリューション事業において公的支援制度申請支援サービスに関して申請期限が迫る3月が最需要期となること、また、コンテンツ制作において12月及び3月に顧客企業に対する納期が集中する傾向があることなどにより、下期に偏重する季節的変動要因があります。